

令和6年5月7日

各関係機関等の長 殿

金沢大学医薬保健研究域医学系長
山本靖彦
(公印省略)

金沢大学新学術創成研究機構「次世代医療創成研究コア：社会脳発達研究ユニット」
助教（テニユア・トラック教員）の公募について（依頼）

謹啓 時下ますます御健勝のこととお慶び申し上げます。

金沢大学では、平成27年4月から「新学術創成研究機構」を設置し、新しい学問分野・学問領域の創成につながる学問分野融合型研究を推進しています。

つきましては、下記の要項により助教（テニユア・トラック教員）の公募を行うこととなりましたので、貴機関関係者への周知及び適任者の推薦についてご高配を賜りたくお願い申し上げます。

謹白

記

1. 公募人員：テニユア・トラック助教 1名

所属：金沢大学新学術創成研究機構「次世代医療創成研究コア：社会脳発達研究ユニット」

(※ユニットは、原則10年で解消となるため、所属部局の異動の可能性があります。)

公募研究領域：金沢大学新学術創成研究機構次世代医療創成研究コアでは、様々な先進的テクノロジーを駆使することによって、がん、代謝病、感染症関連疾患等のコアメカニズムを解明し、その成果を創薬、プローブ開発、マイクロバイオーム介入等による次世代医療開発へと発展させることをミッションに掲げています。近年、遺伝子発現のエピジェネティック制御機構の異常が、自閉スペクトラム症等の発達障害の発症に関与することが知られています。同コア社会脳発達研究ユニットでは、発達障害の発症メカニズム解明と治療法開発を目指して、分子レベルから個体レベルまでの研究を展開しています。培養細胞や遺伝子改変マウスを用いた分子生物学的手法に加え、ゲノム編集、次世代シーケンサー、高速原子間力顕微鏡、オルガノイド培養、光遺伝学、人工知能等、最先端のテクノロジーを駆使して上記課題に取り組んでいます。

任務：「若手主任研究者（若手P I）」として、上記研究ユニットにおける学問分野融合型研究の推進に中心的な役割を担う。

教育担当：以下の組織における、上記分野に関連する講義、実習及び研究指導等

- ・ 学士課程における組織学に関する講義及び実習
- ・ 大学院医薬保健学総合研究科修士課程及び博士課程における分子生物学・神経科学に関する研究指導

(英語による授業を担当していただく場合があります)

勤務形態：任期付き常勤助教（任期は原則5年：本学に在職中のものが継続して本教員となる場合の任期は、その在職期間も通算して10年を超えない範囲）

再任・昇任制度：テニユア付与の可否については、任期満了前の所定の時期に研究・教育実績に関する学内審査を行います。なお、テニユア付与の場合、上位職への昇任もあわせて審議される場合があります。

本学テニユア・トラック制度の規定については、下記URLをご覧ください。

<https://www.kanazawa-u.ac.jp/wp-content/uploads/2019/04/tenure.pdf>

※テニユア付与基準の概略

- (1)国内外で、分野における研究成果が特に優れていると認められること

(2)適正に計画された研究計画（研究ユニットとしての計画を含む）が達成されていること

(3)十分な競争的研究資金を獲得していること

(4)学生に対する教育成果（研究指導および講義内容）が優れていると認められること

※インセンティブ：研究経費として年間100万円程度（5年間）を措置する予定

給与：年俸制が適用されます。

※テニユア付与後は、国立大学法人金沢大学教員の任期に関する規程の適用を受ける教員となり、研究・教育業績に係る学内審査の結果に応じて、任期満了後に再任されま

す。

2. 着任（採用）時期：令和6年10月1日以降のできるだけ早い時期

3. 応募資格

(1) 着任時に博士の学位を有する研究者

(2) 上記公募研究領域での研究実績があり、助教（若手主任研究者）として本研究ユニットにおける研究プロジェクトを推進できる優れた研究者

(3) 日本語と英語による十分なコミュニケーション能力を備えていること。

4. 応募書類 (1) 推薦書（必ずしも必要とはしない。ただし提出しない場合は問い合わせのできる2名の氏名、所属、住所、電話番号、電子メールアドレスを添付すること）

(2) 履歴書 1通（様式1）

(3) 業績目録 1通（様式2）

(4) 主要論文 5編 各編別刷7部（コピー可）

(5) 研究・教育に関する実績と抱負（2,000字以内、様式自由）

※上記書類は、選考後においても返却しません。

※選考の過程において、講演や面談のためにご来学いただく場合があります。（交通費の支給はいたしません）。

なお、ご来学が難しい場合、インターネットでの面接を行う場合があります。

※提出いただきました履歴書等の書類は、個人情報に留意して処理し、返却いたしません。

5. 応募締切 令和6年6月28日（金）17時（必着）

6. 書類提出先（郵送又はEメールにて受け付けます）

[郵送の場合] 〒920-8640 金沢市宝町13番1号

金沢大学医薬保健研究域医学系長あて

（親展とし、表書きに「新学術創成研究機構助教応募書類在中」と朱書きし、郵送の場合は書留でお願いします）

[Eメールの場合] すべての必要書類について、PDFファイルへ変換し、下記の事務担当アドレス宛に【新学術創成研究機構助教応募】というタイトルで一つの圧縮ファイルにまとめて送付してください。

メールサイズが10MBを超える場合は、ファイル送信サービス等を利用して提出してください。

メール受取後、事務担当から受取の連絡をいたします。2営業日を経過しても受取連絡の返信がない場合は、事務担当まで連絡願います。

7. 本件問合せ先 事務担当：医薬保健系事務部総務課人事係長 池多

TEL. 076-265-2112 FAX. 076-234-4202

e-mail: t-jinji@adm.kanazawa-u.ac.jp

研究担当：ユニットリーダー 西山 正章

（新学術創成研究機構 教授/医薬保健研究域医学系 組織細胞学 教授）

TEL. 076-265-2150

e-mail: nishiyam@staff.kanazawa-u.ac.jp

8. その他

※金沢大学では、ダイバーシティ研究教育環境の整備を推進しています。詳しくは下記のURLをご覧ください。

<http://cdl.w3.kanazawa-u.ac.jp/>

※給与等については、金沢大学職員給与規程によります。下記のURLをご覧ください。

<https://www.kanazawa-u.ac.jp/university/jyouhoukoukai/soshiki>

※任期に関する規程の詳細は、下記のURLをご覧ください。

<https://www.kanazawa-u.ac.jp/university/administration/regulation/rules>

※大学院新学術創成研究科・融合科学共同専攻又はナノ生命科学専攻（助教は博士前期課程のみ）の専任教員として、教育に参画いただく可能性がありますので、ご留意願います。

様式1

履 歴 書

現 住 所

TEL

e-mail:

ふりがな

氏 名

印

生年月日 西暦 年 月 日 生

現 職

TEL

学 歴 (高等学校入学以降)

免 許 免 許 名 : 取得年月日 :

番 号 : 第 号

学 位 学 位 名 : 授与大学名 :

取得年月日 : 年 月 日

資 格

職 歴 (外国出張等についても記入してください)

加入学会 (期間、学会名、学術団体名、役職名)

教育実績 (最近の5年度に限り、担当授業科目、大学院での研究指導学生数等)

その他特記事項 (教育ワークショップ等への参加、学生生活指導、管理運営、兼任公職、
社会貢献、特許等)

賞 罰

科学研究費補助金・助成金等

(代表・分担別に、種目・課題名・金額を含め記載のこと)

(用紙はA4版横書きとしてください)

写真

1. 縦36~40mm
横24~30mm
2. 本人単身胸から上

業 績 目 録

I 著 書

II 総 説

III 原 著（研究分野ごとに類別し、標題には、A、B、C、……を冠する）

IV 学会発表等（国際学会の場合は、発表演者に限る。国内学会の場合は、特別講演、教育講演、シンポジウム及びワークショップ等に限る）

- 1 I～IIIについては、著者名、書名又は題名、発表誌名、巻、ページ（初ページ～終ページ）、発行所名、発行年の記載があれば、様式は自由。印刷中の論文は、掲載証明書の写しを添付してください。
- 2 用紙は、A4版、横書、タイプ浄書（ワープロを含む）としてください。
- 3 著書、総説、原著、学会発表等は年月日の新しいものから降順で番号を付記してください。また、本人氏名には下線を付してください。さらに、corresponding authorとなっている論文には、それが分かるようにマークしてください。
- 4 論文別冊を添付したものは、○印を付すとともに、論文別冊にもその番号を明記してください。
- 5 学位論文はその旨付記してください。